

内柴選手に第1号の市民栄誉賞



9月12日、市役所で、市民約500人が見守る中、北京五輪柔道男子66kg級でアテネ大会に続き2大会連続金メダルを獲得した内柴正人選手（一の宮中学校出身）に、阿蘇市で第1号となる市民栄誉賞が贈られました。内柴選手は、高木健次後援会長（県議会議員）や家族と共に授与式のために来庁し、「自分は柔道がうまい訳では

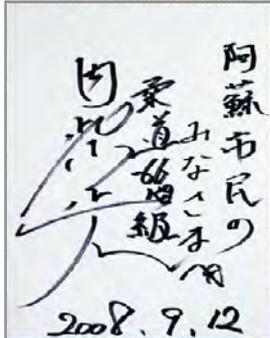
ない。がむしやりに相手に向かい辞めずに柔道を続けてきて良かった。阿蘇市のために何か役に立つことがあればやりたい」とお礼を述べられました。母校一の宮中学校を代表し、生徒会3年議長の小林美晴さんがメッセージを読み上げ、副会長の山城舞さんと書記の矢野実祥さんが花束を贈りました。



市長からクリスタルガラスの記念の盾を贈られる内柴正人選手



式典で挨拶する内柴正人選手



市民の皆さんへ贈られた色紙

新しい園舎が完成 赤水保育園



熊本YMCA赤水保育園が、園舎の老朽化に伴い、赤水財産管理組合所有のテニスコート跡地に新築移転し、8月31日、竣工式が挙行されました。式は、約100人の来賓が集う中、木の香り漂う遊戯室で行われ、主催した熊本YMCA福祉会理事長堤弘雄氏の挨拶ほか、園児が太鼓演奏を披露し完成を祝いました。



2歳児保育室



保育室



新赤水保育園献堂式

赤水保育園は昭和32年に開設され、昭和59年に旧阿蘇町から熊本YMCA福祉会へ運営を委託。そして、今年9月1日からは、熊本YMCA福祉会が園舎建設し、民設民営の保育園（容定員90人）としてスタートしました。

【園舎の概要】

延床面積699㎡。7部屋の保育室、事務室、厨房、遊戯室

《建設コンセプト》

保育室は開放的で明るい環境に。自然の中にある森の保育園」として、環境に優しい建物になっています。